

学生らと那智山ツアー 「たいジオ」支援のアプリを改良



アプリの動作確認をする参加者の皆さん
= 2月22日、那智勝浦町市野々

太地町のガイドグループ「たいジオ」(久世滋子代表)は2月22日、地質を中心に地域の名所などを観察しながら巡る「第8回アルコラツアー・那智スマホ編」を開催した。雨の中16人が参加し、那智勝浦町の大門坂

から那智山周辺を散策した。今回は和歌山大学の吉野孝教授と学生らが開発したスマートフォン用のアプリケーションを取り入れた催しで、このアプリを使うと、あらかじめ登録されたジオの情報や

その場で入力した現地解説、地図や参考資料などを参加者の端末へ簡単に配信することができる。

吉野教授によると数年前に実用化したものを、このほど「たいジオ」メンバーのリクエストを受け、抜本的な改良をしたという。学生の西村涼太さんが中心となって作り直し、「どこでもすぐに案内ができる」ことから「docogeo」ドコジオ」と名付けた。多くあった要望の一つ、自分がある場所の位置と高さ分かる機能も取り入れた。

出発前に、メンバーの橋口雅美さんからアプリの使用方法や注意事項などの案内があった。ダウンロードを終えた参加者の端末にはクジラをモチ

ーフにしたユニークな画面が現れ、各自にバンドウ、スナメリ、オキゴンドウなどの鯨類のニックネームが配信された。

一行は大門坂を歩いて熊野那智大社や那智山青岸渡寺へ向かった。休憩後は那智の滝で、水に侵食された「流紋岩」の柱状節理の説明があり、「数年前、柱状節理の一つが滝つぼに落ちた時にはものすごい音がしたらしい」といったエピソードや、落下する水が岩盤を削っていくことで、「万年単位ですが、滝は少しずつ後退している」

などの解説で盛り上がった。西村さんは「自然観察などの観光ではITの力が導入されていない。普

通に散策するよりも、よりジオの魅力が高まるように工夫しました」と話していた。(泉 真子)

令和2年3月3日付
熊野新聞